



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 東洋シャッター株式会社

コード番号 5936 URL <https://www.toyo-shutter.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 敏夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画統括部長 (氏名) 野中 真也 TEL 06-4705-2125

定時株主総会開催予定日 2025年6月19日 配当支払開始予定日 2025年6月4日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月19日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	20,871	△2.9	1,301	△12.1	1,210	△11.4	792	△17.4
2024年3月期	21,487	3.9	1,480	71.2	1,367	68.1	959	71.7

(注) 包括利益 2025年3月期 715百万円 (△38.3%) 2024年3月期 1,159百万円 (128.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	125.16	—	8.6	6.2	6.2
2024年3月期	151.50	—	11.4	7.0	6.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	18,719	9,493	50.7	1,499.09
2024年3月期	20,327	8,975	44.2	1,417.04

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,493百万円 2024年3月期 8,975百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	△160	△66	△672	3,799
2024年3月期	1,542	△146	△177	4,699

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00	196	20.5	2.3
2025年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00	240	30.4	2.6
2026年3月期 (予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		31.7	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,800	△8.8	300	△29.4	260	△31.8	180	△26.2	28.42
通期	21,000	0.6	1,320	1.4	1,240	2.4	800	0.9	126.32

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	6,387,123株	2024年3月期	6,387,123株
② 期末自己株式数	2025年3月期	54,298株	2024年3月期	53,428株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	6,333,198株	2024年3月期	6,334,158株

(参考) 個別業績の概要
2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	20,871	△2.9	1,270	△16.0	1,179	△15.7	767	△22.5
2024年3月期	21,487	3.9	1,512	77.9	1,399	75.2	990	82.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	121.19	—
2024年3月期	156.32	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	18,575	9,402	50.6	1,484.76
2024年3月期	20,136	8,832	43.9	1,394.50

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,402百万円 2024年3月期 8,832百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	11
(連結製品別売上明細)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、物価の上昇等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当シャッター業界を取り巻く状況としましては、民間設備投資需要は持ち直しの動きがみられますが、中・大型物件における受注競争は依然激しく、引き続き予断を許さない環境にあります。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画『TOYO REBORN 3』の最終年度として、販売価格水準の更なる向上や生産効率の改善等により基幹事業の収益力向上に取り組むと共に、戦略的な受注活動や受注済み案件の採算改善などに注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度における受注高は前年同期比1.0%減の21,576百万円となり、売上高は20,871百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は1,301百万円（前年同期比12.1%減）、経常利益は1,210百万円（前年同期比11.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は792百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

（主要製品の販売状況）

軽量シャッターにつきましては、小口需要が落ち込む中、売上高は2,651百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

重量シャッターにつきましては、採算重視の受注により、売上高は5,807百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

スチールドアにつきましては、高付加価値の新製品投入の寄与もあり、売上高は4,119百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

修理・点検につきましては、定期点検契約の増強等に注力しましたが、売上高は5,115百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

なお、新中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』をスタートすることを契機に、当連結会計年度より製品、サービス区分の見直しを行い、変更後の区分により記載しております。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は前連結会計年度末に比べて1,912百万円減少し、11,414百万円となりました。これは主に下請法に準拠した手形サイトの短縮に伴う現金及び預金の減少によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて305百万円増加し、7,305百万円となりました。これは主にリース資産の増加によるものです。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は前連結会計年度末に比べて4,231百万円減少し、5,998百万円となりました。これは主に手形サイト短縮に伴う支払手形の減少によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて2,105百万円増加し、3,227百万円となりました。これは主に一年内返済予定の長期借入金の借換えに伴う長期借入金の増加によるものです。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比べて518百万円増加し、9,493百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて900百万円減少し、3,799百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は160百万円（前年同期は1,542百万円の資金増加）となりました。これは主に手形サイトの短縮に伴う仕入債務の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は前年同期に比べて79百万円減少し、66百万円となりました。これは主に固定資産の取得による支出の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べて495百万円増加し、672百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出の増加によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復が続くことが期待される一方で、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響や、米国の政策動向による影響、金融資本市場の変動などが我が国の景気下押しリスクとして懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

また当シッター・ドア業界においては、民間設備投資需要は当面持ち直しの動きが続くとみられるものの、鋼材・部品価格の高止まり、物流コストや人件費の更なる上昇などが引き続き業績に影響を及ぼす見通しであり、厳しい事業環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは2025年度を初年度とする新たな中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』（2025年5月14日公表）をスタートすることといたしました。

当社グループは、「防ぐ」を合言葉にすべてのユーザーへ安全・安心・快適・感動を提供し持続可能な社会づくりに貢献するという新たな経営理念の実現のため、5年後のあるべき姿を掲げ、社員一人ひとりが使命を果たし共有・協力することをスローガンに、高い理想に向かって一步一步着実に前進してまいります。

具体的には、9つの重要業績評価指標（KPI）を設定し、その最終年度の数値目標である売上高250億円、営業利益20億円、ROE10%、PER10倍、戦略的キャッシュアロケーション15億円などの達成に向けて、基幹事業の強化や企業品質向上、成長戦略と人的資本投資、サステナビリティなどの重点施策に取り組んでまいります。

以上により、2026年3月期の通期業績予想といたしましては、売上高は21,000百万円、営業利益は1,320百万円、経常利益は1,240百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は800百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実性やリスクを含んでおります。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、中長期的な企業価値の向上と安定的な経営基盤の確保に努めながら、株主の皆様への利益還元とのバランスの最適化を、経営の最重要課題の一つとして位置付けております。今後につきましても、企業品質向上やSDGsへの取り組みを推進するための設備投資や研究開発に必要な内部留保を確保しつつ、財務状況も勘案のうえ、最適かつ積極的なキャッシュ・フロー配分を行ってまいります。

この方針に基づき、当期の剰余金の配当につきましては、2025年5月14日に「剰余金の配当に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、1株当たり年間38円00銭の配当を行います。

なお、本日開示いたしました「中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』の策定について」に記載いたしましたとおり、配当性向については5年後に40%を目標といたします。

また、2025年度につきましては、1株当たり40円00銭の年間配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は現在国内に限定されており、海外の事業展開を行っていないことと連結財務諸表の期間比較、企業間の比較可能性を考慮し、国内他社のIFRS採用動向を踏まえ、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,699	3,799
受取手形	395	198
売掛金	2,914	2,868
契約資産	1,032	984
電子記録債権	1,172	823
仕掛品	1,113	1,088
原材料及び貯蔵品	1,286	1,332
その他	714	324
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	13,327	11,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,691	6,710
減価償却累計額	△5,705	△5,850
建物及び構築物（純額）	985	859
機械装置及び運搬具	3,081	2,977
減価償却累計額	△3,012	△2,917
機械装置及び運搬具（純額）	68	59
工具、器具及び備品	956	950
減価償却累計額	△804	△815
工具、器具及び備品（純額）	151	135
土地	3,557	3,557
リース資産	1,053	1,523
減価償却累計額	△409	△517
リース資産（純額）	644	1,005
有形固定資産合計	5,408	5,617
無形固定資産		
電話加入権	24	24
リース資産	209	159
その他	5	4
無形固定資産合計	238	187
投資その他の資産		
投資有価証券	69	169
退職給付に係る資産	981	917
繰延税金資産	75	160
その他	227	252
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	1,352	1,499
固定資産合計	6,999	7,305
資産合計	20,327	18,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,576	1,728
電子記録債務	—	534
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	2,239	193
リース債務	194	244
未払金	523	504
未払法人税等	248	327
契約負債	198	159
賞与引当金	567	595
工事損失引当金	150	346
その他	530	364
流動負債合計	10,230	5,998
固定負債		
長期借入金	329	2,136
リース債務	758	1,058
退職給付に係る負債	29	27
その他	4	4
固定負債合計	1,122	3,227
負債合計	11,352	9,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,024	2,024
資本剰余金	186	186
利益剰余金	6,647	7,243
自己株式	△49	△49
株主資本合計	8,808	9,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	24
退職給付に係る調整累計額	142	65
その他の包括利益累計額合計	166	89
純資産合計	8,975	9,493
負債純資産合計	20,327	18,719

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	21,487	20,871
売上原価	15,476	15,173
売上総利益	6,011	5,697
販売費及び一般管理費	4,530	4,396
営業利益	1,480	1,301
営業外収益		
保険配当金	22	23
スクラップ売却益	7	5
その他	17	14
営業外収益合計	47	43
営業外費用		
支払利息	66	89
シンジケートローン手数料	21	35
支払手数料	30	—
その他	42	8
営業外費用合計	161	134
経常利益	1,367	1,210
税金等調整前当期純利益	1,367	1,210
法人税、住民税及び事業税	363	470
法人税等調整額	43	△52
法人税等合計	407	418
当期純利益	959	792
親会社株主に帰属する当期純利益	959	792

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	959	792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△0
退職給付に係る調整額	191	△77
その他の包括利益合計	199	△77
包括利益	1,159	715
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,159	715
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,024	186	5,801	△48	7,963
当期変動額					
剰余金の配当			△114		△114
親会社株主に帰属する当期純利益			959		959
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	845	△0	844
当期末残高	2,024	186	6,647	△49	8,808

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	16	△49	△33	7,930
当期変動額				
剰余金の配当				△114
親会社株主に帰属する当期純利益				959
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7	191	199	199
当期変動額合計	7	191	199	1,044
当期末残高	24	142	166	8,975

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,024	186	6,647	△49	8,808
当期変動額					
剰余金の配当			△196		△196
親会社株主に帰属する当期純利益			792		792
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	596	△0	595
当期末残高	2,024	186	7,243	△49	9,404

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	24	142	166	8,975
当期変動額				
剰余金の配当				△196
親会社株主に帰属する当期純利益				792
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	△77	△77	△77
当期変動額合計	△0	△77	△77	518
当期末残高	24	65	89	9,493

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,367	1,210
減価償却費	355	409
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	△1
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△33	△42
賞与引当金の増減額 (△は減少)	66	28
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△218	196
受取利息及び受取配当金	△2	△3
支払利息	66	89
シンジケートローン手数料	21	35
売上債権の増減額 (△は増加)	144	640
棚卸資産の増減額 (△は増加)	37	△20
仕入債務の増減額 (△は減少)	342	△2,314
未収入金の増減額 (△は増加)	△250	288
その他	17	△203
小計	1,920	317
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△66	△90
法人税等の支払額	△313	△391
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,542	△160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	100
投資有価証券の取得による支出	△0	△100
固定資産の取得による支出	△141	△57
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	1	0
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△5	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	2,000
長期借入金の返済による支出	△202	△2,239
シンジケートローン手数料の支払額	△3	△63
リース債務の返済による支出	△157	△173
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△113	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177	△672
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,219	△900
現金及び現金同等物の期首残高	3,479	4,699
現金及び現金同等物の期末残高	4,699	3,799

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）及び当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

当社の報告セグメントは単一でありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,417.04円	1,499.09円
1株当たり当期純利益	151.50円	125.16円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	959,635	792,635
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	959,635	792,635
普通株式の期中平均株式数（株）	6,334,158	6,333,198

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(連結製品別売上明細)

期別 品名	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	
軽量シャッター	2,673	12.4	2,651	12.7	△0.8
重量シャッター	6,371	29.7	5,807	27.8	△8.9
シャッター関連	2,570	12.0	2,616	12.6	1.8
シャッター計	11,616	54.1	11,075	53.1	△4.7
スチールドア	3,987	18.6	4,119	19.7	3.3
建 材 他	656	3.0	561	2.7	△14.4
修理・点検	5,226	24.3	5,115	24.5	△2.1
合 計	21,487	100.0	20,871	100.0	△2.9

※新中期経営計画『TOYO ADVANCE 5』をスタートすることを契機に、当連結会計年度より製品、サービス区分の見直しを行い、変更後の区分により記載しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の表示の組替を行っております。